

## 平成 26 年度「女子中高生の理系進路選択支援事業 家族でナットク！理系最前線」 「東大工学部をのぞいてみよう！」 開催報告

Event report: “Lab tour for Rikei-Girls” Introduction of the University of Tokyo’s School of Engineering to female high-school students and junior high-school students

An event to introduce the University of Tokyo’s School of Engineering to female high-school students and junior high-school students “Lab tour for Rikei-Girls” was held during 13:30-17:00 on Nov.1st. The Event is supported by JST. First, prof. Madoka Takai, the chairman of Gender Equality Committee of Faculty of Engineering introduced our school of Engineering. Then prof. Kyoko Ishizaka and two female graduate school students gave the talks related to the story why they chose the engineering school and what their lives are.

After these special talks, participants went a Lab-tour. Three laboratories in department of mechanical engineering, Department of chemical system engineering and Department of applied physics were introduced. At the end of the event, we had casual round-table type meeting, splitting into some small groups of the specific fields of the students’ interest. There were many questions from the students. After the events, questionnaire were collected and many gave comments that they had become more interested in the engineering field and encouraged to get into the engineering school through this event.

### 1. 実施内容

11 月 1 日（土）に本郷キャンパス工学部 11 号館大講堂にて、女子中高生を対象とした見学会「東大工学部をのぞいてみよう！」を開催しました。当日は雨天でしたが、中高生 28 名（女子中学生 14 名、女子高校生 14 名）、保護者 15 名が参加しました。また当日参加者スタッフとして、教員 8 名、職員 1 名、学生 TA7 名、さらに見学箇所にて数名の教職員、大学院生に対応していただきました。

13 時 30 分に集合し、高井まどか先生による工学部概要紹介に引き続き、石坂准教授の講演および、工学部学生講演を 2 件行いました。学生講演では講演者が現在携わっている研究内容や、どのような動機でその分野を選んだかをお話いただきました。プロジェクト演習や研究の面白さ、課外活動の充実ぶりなど、中高生にとっても楽しい大学生活の様子が感じられたようです。石坂先生による講演では、最先端物理工学の研究内容に加え、研究室の立ち上げの苦労話など実際の研究活動の話をしていただきました。その後、3 グループに分かれ、東大構内を案内しながら研究室体験・見学を実施しました。女子中高生は、大型機器や「研究室」での実験の様子を興味深く見学していました。見学後工学部 11 号館に戻り講堂にて、TA、教員を交え懇親会をおこないました。年齢の近い学生達に、進路を決めたきっかけや、普段なじみのない「研究室」での生活をざっくばらんに質問していました。



図1 講演会の様子

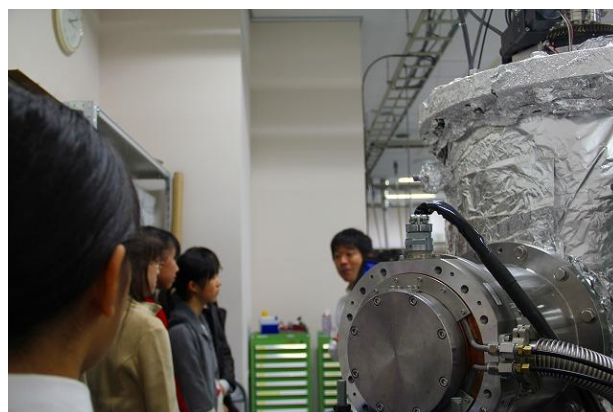


図2 研究室見学の様子

## 2. アンケート結果

当日アンケートを配布し、解散時に回収しました。参加者のうち、中高生 20 名、保護者 12 名より回答いただきました。参加者の大多数は、理工系に興味があって本イベントに参加しており、本イベントに満足したという、好意的な意見が多数みられました (図 3,4,5)。理系の就職先、就職後の人生設計、女性ならではの苦勞について知りたいという声が強くなりました (図 6)。アンケート結果を参考に、引き続き多様なロールモデルの紹介をしていきたいと考えています。

## 3. まとめ

昨年と同様、研究室見学と同時に、女性研究者や身近な先輩である在校生と十分に話をする機会を設けましたが、アンケート結果から非常に好評であったことが伺えました。特に、工学部での研究内容や研究室の様子が見学でき、工学に対するイメージが沸き進路選択の参考になったとの意見を多く得、今回のイベントが女子中高生進路選択に参考になったと考えています。限られた時間であるため、紹介できなかった他の学科についても同様の説明会を期待したいという意見や、別のキャリアパスについての具体例についても話を聞いてみたいという意見もみられましたので、今後の企画の参考にしていきたいと考えています。

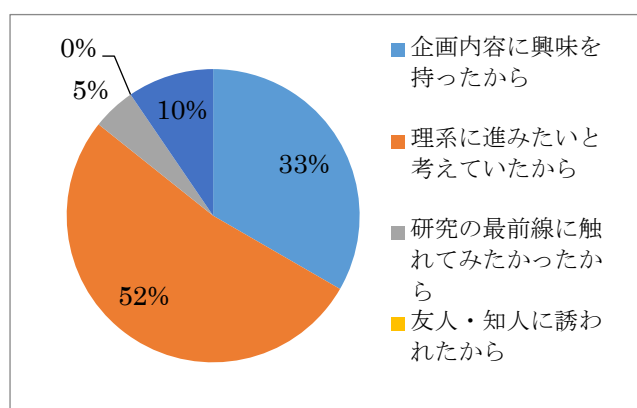


図3 なぜこのイベントに参加し追うと思ったか(中高生)

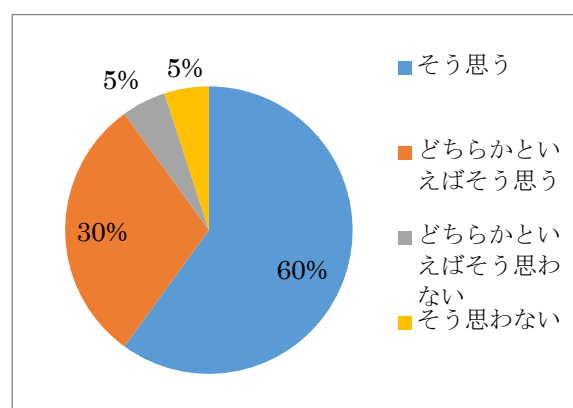


図4 科学技術に関する職業に尽きたいと思ったか(中高生)

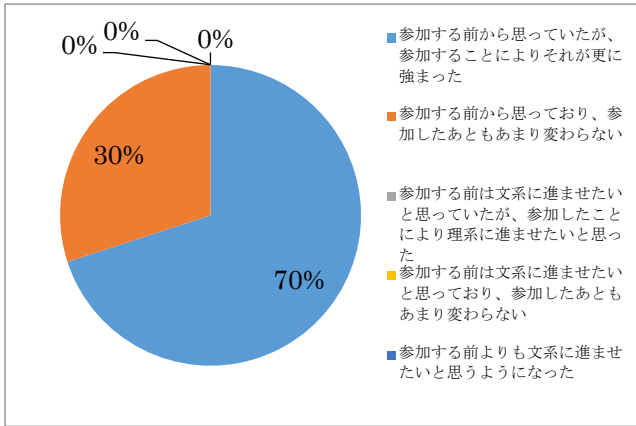


図 5 理系に進ませたいと思うようになったか(保護者)

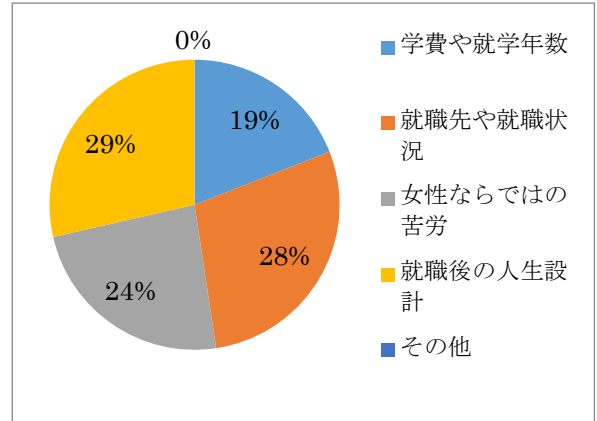


図 6 子供が理系分野へ進学・就職することについて知りたいことは何か(保護者)